

応募

区域	応募者（応募した者）											
	氏名	性別	年齢	職業	経歴		農業経営の状況				農業委員への応募の有無	応募する理由
					年月日	職名・役職名等	営農類型	主な作物	経営規模	形態		
1	野村 勝義	男	51	農業	平成9年4月 令和5年1月 令和5年7月	兼業農家となる 自然農法野村農園代表に就任 農地利用最適化推進委員就任（第2区）	水田作 露地野菜	水稻 露地野菜 タケノコ	400a	専業	無し	現在、第2区の農地利用最適化推進委員として活動しています。 この度、私が営農を行っている第1区の農地利用最適化推進委員の募集があったので、応募しました。 私は自然農法で生産された作物と有機農薬不使用作物をメインに、直売所を立ち上げ販売を行っています。また、インターネットを活用し、山陽小野田市の自然農法の作物を宣伝し、販売しています。将来的には、6次産業化を図りたいと考えています。 このような理念を生かし、本市の農業を元気にさせるため、地元の区域で農地利用最適化推進委員として活動したいと考えます。
2	梶田 智志	男	44	農業	平成13年3月 平成13年4月 平成16年3月 平成19年6月 平成21年1月 平成29年7月	山口県農業大学校卒業 (有)グリーンハウス入社 同社を退職し家業の農業を継ぐ 山陽小野田市認定農業者 小野田施設野菜生産組合部会会長 JA山口宇部青壮年部会員 山陽小野田市農業委員就任	水田作 施設野菜	水稻 キュウリ	230a	専業	無し	私は平成29年7月に農業委員に就任し、3年間、農地法に定める審査や農地利用の最適化の活動を行いました。 この度、私が農業活動を行っている第2区の農地利用最適化推進委員の募集があったのでこれに応募しました。 現在、地域農業が抱える課題は大変深刻であり、一朝一夕に解決できるものではありません。 これまで培ってきた農業経営のノウハウや、農業委員として活動した経験を生かし、農業振興や農地利用の最適化をより一層推進したいと考えます。